

羽幌町港湾整備事業経営戦略

団 体 名 : 羽幌町

事 業 名 : 港湾事業

策 定 日 : 令和 2 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 2 年度 ~ 令和 11 年度

※複数の港湾を有する事業にあつては、港湾ごとの状況が分かるよう記載すること。

1. 事業概要

(1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非適の区分	非適用	事業開始年月日	昭和42年9月14日
職 員 数	0 人	港 (重 要 港 区 湾 等 分)	地方港湾
民間活用の状況	ア 民間委託		清掃等を委託
	イ 指定管理者制度		—
	ウ PPP・PFI		—

(2) 使用料体系

※施設区分の中で複数の使用料体系がある場合には、それぞれの内容を分けて記載すること。

使用料体系の概要・考えの方	各旅客上屋を良好な状態に維持管理することを目的とし使用料を徴収する。					
施設区分	現行(a)	前回(b)	改定率	前々回(c)	改定率	
	使用料区分	(R1年改正)	(H26年改正)	(a/b)%	(H9年改正)	(b/c)%
ふ 頭 用 地	舗装			%		%
	未舗装			%		%
上 屋	荷さばき上屋			%		%
	燻蒸上屋			%		%
	旅客上屋 (貨物保管庫・羽幌港)	594円(1ヶ月1㎡)	583円(1ヶ月1㎡)	101.9 %	567円(1ヶ月1㎡)	102.8 %
	旅客上屋 (その他・羽幌港)	847円(1ヶ月1㎡)	831円(1ヶ月1㎡)	101.9 %	808円(1ヶ月1㎡)	102.8 %
	旅客上屋 (その他・天売港、焼尻港)	495円(1ヶ月1㎡)	486円(1ヶ月1㎡)	101.9 %	472円(1ヶ月1㎡)	103.0 %
荷 役 機 械			%		%	
引 船			%		%	
貯 木 場			%		%	
そ の 他			%		%	

※各項目の単位を明記すること

(3) 現在の経営状況

年間取扱貨物量 ※過去3年度分を記載	H30年	羽幌港	76,698 トン	H29年	羽幌港	71,570 トン	H28年	羽幌港	71,768 トン
		焼尻港	33,756 トン		焼尻港	35,878 トン		焼尻港	31,264 トン
		天売港	41,630 トン		天売港	35,852 トン		天売港	34,591 トン
年間船舶乗降旅客数 ※過去3年度分を記載	H30年	羽幌港	15,861 人	H29年	羽幌港	17,388 人	H28年	羽幌港	16,964 人
		焼尻港	8,620 人		焼尻港	9,876 人		焼尻港	9,695 人
		天売港	10,903 人		天売港	12,234 人		天売港	12,118 人
年間使用料収入額 (税込み) ※過去3年度分を記載	H30年度	羽幌港	5,501,000 円	H29年度	羽幌港	5,510,000 円	H28年度	羽幌港	5,500,000 円
		焼尻港	36,000 円		焼尻港	36,000 円		焼尻港	36,000 円
		天売港	22,000 円		天売港	22,000 円		天売港	22,000 円
経常収支比率 (又は収益的収支比率) ※過去3年度分を記載	H30年度 35.8 %		H29年度 34.9 %		H28年度 35.5 %				
経費回収率 ※過去3年度分を記載	H30年度 35.8 %		H29年度 34.9 %		H28年度 35.5 %				
他会計補助金比率 ※過去3年度分を記載	H30年度 64.2 %		H29年度 65.1 %		H28年度 64.5 %				
有形固定資産減価償却率 ※過去3年度分を記載	-		-		-				
企業債残高対 料金収入比率 ※過去3年度分を記載	-		-		-				
【上記の収益、資産等の状況等を踏まえた現在の経営状況の分析】									
平成25年度に完成した羽幌港旅客上屋の建設費用に係る地方債償還金が支出のほとんどを占めているが、他会計補助金比率が65%程度あることから、他会計繰入金に依存した経営状況にある。									

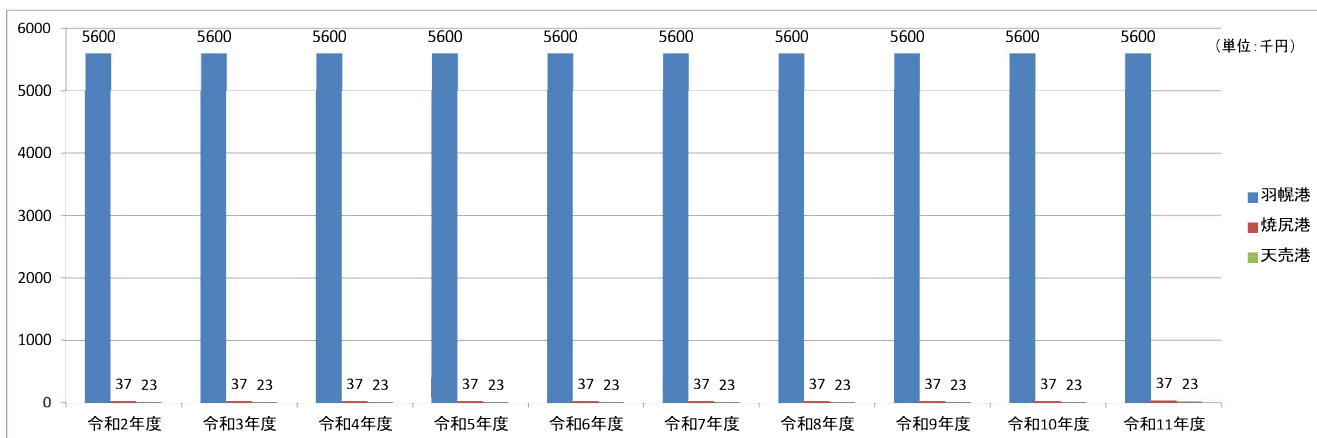
2. 将来の事業環境

(1) 取扱貨物量等の見通し

-

(2) 使用料収入の見通し

旅客上屋の新設等の予定もないことから、ほぼ横ばいで推移するものと考えられる。



(3) 施設の見通し

羽幌港旅客上屋に関しては建設から7年、天売・焼尻旅客上屋に関しては建設から40年以上が経過しているが、いずれも法定耐用年数を過ぎておらず、「羽幌町公共施設マネジメント計画」においても更新は直近の課題となっていない。
ただし、天売・焼尻旅客上屋については、耐用年数を経過していないものの、老朽化が著しい箇所もあることから、今後も早期の修繕等により適正な管理を行っていく。

(4) 組織の見通し

港湾に係る職員は他の建設管理業務との兼務であり、また、数年で異動となる一般事務職員である。今後も町の職員体制から専属の職員配置は難しい状況であるが、職員が代わってもノウハウの継承が行なえるよう、業務の見える化や共有、研修の充実を図っていく。

3. 経営の基本方針

今後、天売・焼尻旅客上屋施設の老朽化から修繕費の増加が見込まれるが、羽幌港旅客上屋施設建設に係る地方債の償還が減少することから、各施設の長寿命化を図り、適正な管理・運営に努める。

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

各旅客上屋、特に天売港・焼尻港については、老朽化が著しい箇所もあるため、早期の修繕等により適正な管理を行っていく必要があることから、修繕等に係る投資を行う。

② 収支計画のうち財源についての説明

平成25年度に完成した羽幌港旅客上屋の建設費用に係る地方債償還金が支出のほとんどを占めており、今後も同様の状況が続き、主に他会計からの繰入金財源となる。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	—
投資の平準化	—
その他の取組	—

② 今後の財源についての考え方・検討状況

使用料	—
企業債	—
繰入金	—
資産の有効活用等による 収入増加の取組	—
その他の取組	—

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	—
管理運営費	—
職員給与費	—
その他の取組	—

5. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、 改定等に関する事項	事業の運営状況について、概ね5年ごとに検証し、必要であれば経営戦略の更新等を検討する。
-------------------------	---

投資・財政計画 (収支計画)

(単位:千円, %)

区 分		年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
		(決算)	(決算見込)											
収 益	収益的収入	1 総 収 益 (A)	5,559	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660
		(1) 営 業 収 益 (B)	5,559	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660
		ア 料 金 収 入	5,559	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660
		イ 受 託 工 事 収 益 (C)												
		ウ そ の 他												
		(2) 営 業 外 収 益												
		ア 他 会 計 繰 入 金												
	イ そ の 他													
	収益的支出	2 総 費 用 (D)	2,349	2,297	2,186	2,074	1,962	1,849	1,735	1,635	1,576	1,521	1,467	1,411
		(1) 営 業 費 用	749	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800
		ア 職 員 給 与 費												
		ウ ち 退 職 手 当												
		イ そ の 他	749	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800
		(2) 営 業 外 費 用	1,600	1,497	1,386	1,274	1,162	1,049	935	835	776	721	667	611
ア 支 払 利 息		1,205	1,097	986	874	762	649	535	435	376	321	267	211	
ウ ち 一 時 借 入 金 利 息														
ウ ち 資 本 費 平 準 化 債 分														
イ そ の 他	395	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400		
3 収 支 差 引 (A)-(D) (E)	3,210	3,363	3,474	3,586	3,698	3,811	3,925	4,025	4,084	4,139	4,193	4,249		
資 本 的 収 入	資本的収入	1 資 本 的 収 入 (F)	9,971	9,927	9,927	9,925	9,926	9,926	9,830	971	576	576	576	576
		(1) 地 方 債												
		ウ ち 資 本 費 平 準 化 債												
		(2) 他 会 計 補 助 金	9,971	9,927	9,927	9,925	9,926	9,926	9,830	971	576	576	576	576
		(3) 他 会 計 借 入 金												
		(4) 固 定 資 産 売 却 代 金												
		(5) 国 (都 道 府 県) 補 助 金												
	(6) 工 事 負 担 金													
	(7) そ の 他													
	資本的支出	2 資 本 的 支 出 (G)	13,181	13,290	13,401	13,511	13,624	13,737	13,755	4,996	4,660	4,715	4,769	4,825
		(1) 建 設 改 良 費												
		ウ ち 職 員 給 与 費												
		(2) 地 方 債 償 還 金 (H)	13,181	13,290	13,401	13,511	13,624	13,737	13,755	4,996	4,660	4,715	4,769	4,825
		ウ ち 資 本 費 平 準 化 債 償 還 金												
(3) 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金														
(4) 他 会 計 へ の 繰 出 金														
(5) そ の 他														
3 収 支 差 引 (F)-(G) (I)	△ 3,210	△ 3,363	△ 3,474	△ 3,586	△ 3,698	△ 3,811	△ 3,925	△ 4,025	△ 4,084	△ 4,139	△ 4,193	△ 4,249		

投資・財政計画 (収支計画)

(単位:千円, %)

区 分	年 度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
			(決算)	(決算見込)										
収支再差引	(E)+	(I)	(J)											
積立金			(K)											
前年度からの繰越金			(L)											
前年度繰上充用金			(M)											
形式収支	(J)-(K)+(L)-(M)		(N)											
翌年度へ繰り越すべき財源			(O)											
実質収支			黒字(P)											
	(N)-(O)		赤字(Q)											
赤字比率	(Q) / (B)-(C) × 100													
収益的収支比率	(A) / (D)+(H) × 100													
地方財政法施行令第16条第1項により算定した資金の不足額			(R)											
営業収益－受託工事収益	(B)-(C)	(S)	5,559	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660
地方財政法による資金不足の比率	(R)/(S) × 100													
健全化法施行令第16条により算定した資金の不足額			(T)											
健全化法施行規則第6条に規定する解消可能資金不足額			(U)											
健全化法施行令第17条により算定した事業の規模			(V)											
健全化法第22条により算定した資金不足比率	(T)/(V) × 100													
他会計借入金残高		(W)												
地方債残高		(X)	119,903	106,613	93,213	79,701	66,078	52,341	38,586	33,590	28,930	24,215	19,445	14,621

○他会計繰入金

(単位:千円)

区 分	年 度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
			(決算)	(決算見込)										
収益的収支分														
うち基準内繰入金														
うち基準外繰入金														
資本的収支分			9,971	9,927	9,927	9,925	9,926	9,926	9,830	971	576	576	576	576
うち基準内繰入金														
うち基準外繰入金			9,971	9,927	9,927	9,925	9,926	9,926	9,830	971	576	576	576	576
合 計			9,971	9,927	9,927	9,925	9,926	9,926	9,830	971	576	576	576	576